

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	会計室
部(局)長名	原田 勝

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 1	適正な予算執行と公金の適正な管理
--------	------------------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向	信頼性の高い市政の確立のために、予算の執行が法令を遵守し、適正に行われているかを厳正にチェックするとともに、公金の適正な管理、公正な会計事務の確保に努めます。
---------	---

活動目標
予算の執行手続きが、法令等に基づき適正に行われているか審査するとともに、迅速な会計事務を行います。
公金管理は、安全性を最優先とし、指定金融機関の決済用預金に保管し、余剰資金については、安全確実かつ有利な方法で運用を行います。

具体的な取組実績
審査担当者間の情報共有、特異なケースや再確認事項の周知などについて会議を行いました。関係課と調整を行い適正な会計事務を行いました。
公金管理については、指定金融機関の決済用預金に保管し、余剰資金については、安全・確実な国債を購入し運用を行いました。



達成目標
日常の会計審査とともに審査事例の検証を行い、会計室職員の審査能力の向上を図り、より正確かつ迅速な会計事務を行います。
低金利時代のなか特定の目的のために積み立てている基金は、利率が有利で安全・確実な国債や地方債での運用額を増やすなど、有効な運用に努めます。

達成状況	達成度
審査事例の検証、審査能力の向上を図る職場研修を実施するとともに、外部研修にも参加しました。	A 達成
基金の資金運用については、指定金融機関からの借入額（市債など）の総額を限度（ペイオフの範囲内）として、定期性預金等に預け、それ以外の公金は、国債及び地方債を購入し、適切な運用を行いました。	A 達成

総合評価・総括

審査業務については、業務範囲が広く、かつ深い知識が求められることから、情報を共有するための職場研修や全庁職員向けの会計事務研修の講師を務めるなどし、審査能力の向上を図ることができたと考えます。今後も、積極的に外部研修にも参加するなど適正な会計事務の確保に努めます。

基金の資金運用については、低金利の状況が続いている中で、安全・確実な国債や地方債を購入するなど少しでも有利で適切な運用を図ることができたと考えます。今後も、安全性を最優先とし、少しでも有利な方策を模索しながら適切な運用に努めます。